

WEEKLY NEWS

Vol.55 第2624回例会

2021.9.9

今年度会長テーマ

時を守り、場を清め、礼を正す



卓話：東村山市 まちづくり部 みどりと公園課課長 中澤恭(なかざわやすし)様

— プログラム —

Zoom例会

- ① 点鐘：野澤会長
- ② 合唱：我等の生業
- ③ お客様紹介：石山会員
- ④ 会長挨拶・会務報告：野澤会長
- ⑤ 幹事報告：平野幹事
- ⑥ 出席報告：週報にて
- ⑦ お客様挨拶
- ⑧ 委員長報告
- ⑨ 卓話
- ⑩ 謝辞・閉会点鐘：野澤会長



司会：山本会員



点鐘：野澤会長



幹事報告：平野幹事

- 会員数：27名
- 欠席：3名
- 免除者：1名
- 出席率：88.00%
- 出席者：22名
- 3週間前出席率(修正後)：87.50%

例会日：毎週木曜日 12:30~13:30
例会場：八坂神社 社務所
〒189-0013 東京都東村山市栄町3-25-1

週報作成：クラブ管理委員長 大仁田 隆義
事務所：〒189-0013 東京都東村山市栄町3-5-1 ハイツむさしの101
URL：https://hm-rc.org/ h.murayama@eagle.ocn.ne.jp
facebook：https://www.facebook.com/HigashimurayamaRC/
TEL 042-393-7500 FAX 042-395-1166



会長：野澤秀夫
副会長：北久保隆一
幹事：平野裕明
副幹事：大仁田隆義

③お客様紹介

石山会員

- 東村山市 まちづくり部
みどりと公園課課長
中澤恭(なかざわやすし)様



6/4~9ヒューストン。これまでのガバナーナイトからランチョンミーティングに変更。
現地紹介画像と各地区委員のメッセージ入りのプロモーションビデオを作成し、分区のIMにてご案内する。

第2580地区のポロシャツ作成。欲しい人は、事務局まで。(2,000円)

国際大会の登録料金は、12/15迄なら2番目の料金。それ以降は、最高額に。

④会長挨拶・会務報告

野澤会長

・菱沼さん、ご帰還、おめでとうございます
・ガイ・ガンディガー「ロータリー通解」(決議23-34号社会奉仕に関する決議第1条)に、ロータリーとは、自己のために利益を得ようとする欲望と、他人に奉仕しようとする義務感と、それに伴う衝動との間に、常に起きる葛藤を調和させようとする人生の哲学である。

社会奉仕に関して。私の尊敬する深川純一さんが、親睦と奉仕について、「親睦とは、ロータリアン同志が利益を分かち合う内なる力の結集です。奉仕とは、ロータリアンが外へ、社会や他人にも、世のため人のためへの力の結集です。これは、正に相反する力、方向です。これをどう調和させるか。この相反する行動を起こす精神。心は一つである。ここからロータリーの職業奉仕が生まれるのです。」更に、社会奉仕に対する決議に関しては、小堀憲助さんは、これはむしろ奉仕の実践と訳した方が良いのではないかとされています。

- ・2021-22年度地区補助金は東京東村山RC含む20件承認
- ・第58回東村山市民体育大会総合開会式の中止
- ・日本体育大学桜華高等学校 令和3年度桜華祭(文化祭)・体育祭の対応について 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点及び世情を考慮し、Webで実施もしくは無観客にて実施

⑤幹事報告

平野幹事

- ・米山奨学委員会 奨学生研修会 9/27(月)
奨学生研修会 17:00~18:00
奨学生交流会 18:00~19:00
Zoom形式にて開催
- ・10/25ポリオ根絶活動に関するワークショップ
15:00~17:00
講師 高柳育行氏(本庄RC)
場所 東武ホテルレバント東京
希望者は事務局まで
- ・RLI委員会 RLI第2回DL資格取得セミナー
10/11(月) 9:00~@東武レバントホテル東京
- ・第3回多摩分区分区連絡会
10/8(金)予定の第3回多摩分区分区連絡会は健康を鑑み紙上報告形式とする
【例会変更のお知らせ】
東京武蔵村山ロータリークラブ
9月中例会はオンライン(Zoom)例会

⑦お客様挨拶

- 東村山市 まちづくり部みどりと公園課課長
中澤恭(なかざわやすし)様

⑧委員長報告

- 野村地区国際大会参加推進委員

■菱沼事務局

辛い病気が回復し、元気に戻ってきました。ご心配ご迷惑をおかけしました。今後ともよろしくお願いいたします。



⑨卓話

卓話者紹介：野崎プログラム委員長

- 東村山市 まちづくり部みどりと公園課課長
中澤恭(なかざわやすし)様

①野火止用水の水車園復活について

・天明2年(1782年)旧恩多村に當麻本家の酒造米の精米を目的として、川越藩の許可を得て、水車小屋を設置。「當麻水車」として親しまれていた。



大きさは、直径7.5M、幅0.9M。豊かな水を利用して精米、製粉を行い、当時の貴重な動力として自家発電を行い活用されていた。1769年(明和6年)頃は、周辺の新田や畑の開墾が安定し、おかぼ、麦、麦わらなどの農作物の収穫が順調になる。大正時代には、水車の全盛期となり、34の水車が回っていた。その後、電力の登場により昭和26年(1951年)169年間の役目を終えて取り壊された。平成時代に入り、「野火止歴史環境保全地域」に指定。野火止用水沿いの散策の休憩地として、憩いの場として引き継がれることを願い、ふるさと創生事業の一環で、平成3年3月に「恩多野火止用水水車園」として再現。(直径3.6M)。FRPで修繕された。令和3年7/20落成式。7/25、「恩多稲荷プロジェクト」の団体と協力し、お披露目イベントが開催された。

②公園の管理方法が変更について

課員5名で、160超の公園の維持管理をしているが、市民の要望苦情ニーズ等に対応できていない。東村山市第4次行財政改革大綱第4次実行プログラムにより、特色ある公園を見直しながら、活用、活性化を考えていく。令和4年度に新たに市の指定管理者制度に移行予定。より良い参加型の公園づくり。民間業者のカフェやショップ施設付きのパークPFI(民間の資金と経営能力・技術力(ノウハウ)を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法)を導入が適切と考えている。

⑩謝辞・閉会点鐘：野澤会長